

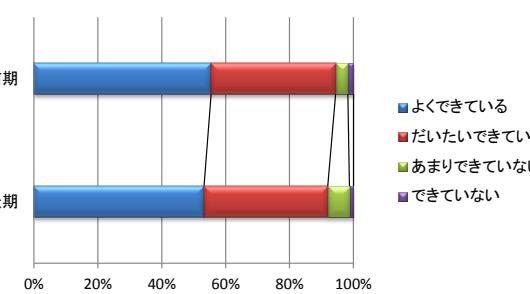
「北白川だより」 後期臨時号

平成 29 年 3 月 22 日
京都市立北白川小学校
校長 山崎 弥生

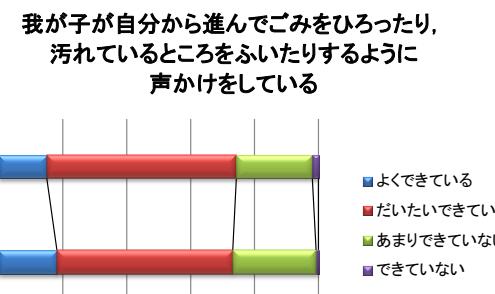
設問「そうじじかん（15 ふんかん）、じぶんからすんでそうじをしている」に対して、約 9 割の子どもが「よくできている」「だいたいできている」と回答していることがわかります。また、「できていない」という回答が前期に比べて減っていることもわかります。

「掃除をしっかりしよう」という意識が子どもたちの中で拡がっており、喜ばしいことです。

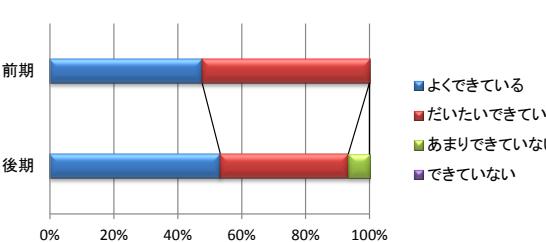
じぶんからすんでそうじしている



子どもたちを支える保護者・教職員は…



自分から進んでごみをひろったり、汚れているところをふいたりするように声かけをしている



平成28年度 後期 学校評価アンケート <生活面> ※今年度前期との比較																	
子どもたち		A	B	C	D	保護者		A	B	C	D	教職員		A	B	C	D
じぶんからすんであいさつをしている。	今年度後期	57.7%	38.9%	3.0%	0.4%	我が家では、進んで挨拶するように声かけをしている。	今年度後期	37.0%	57.1%	5.5%	0.4%	進んで挨拶ができるよう働きかけている。	今年度後期	53.3%	40.0%	6.7%	0.0%
	今年度前期	62.1%	34.4%	2.5%	1.1%		今年度前期	35.2%	60.3%	3.9%	0.7%		今年度前期	45.5%	50.0%	4.5%	0.0%
じぶんの気持ちをことばで伝えることができている。	今年度後期	30.3%	52.6%	15.0%	2.1%	我が家では、子どもに自分の気持ちを正しい言葉で伝えるように声かけをしている。	今年度後期	29.9%	62.2%	7.9%	0.0%	自分の気持ちを正しい言葉で伝えるように働きかけている。	今年度後期	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
	今年度前期	34.6%	47.0%	15.9%	2.5%		今年度前期	26.1%	63.2%	10.1%	0.7%		今年度前期	42.1%	57.9%	0.0%	0.0%
ともだちをたいせつにしなかよくしている。	今年度後期	76.9%	22.6%	0.0%	0.4%	我が家では、友だちを大切にし、仲よくするように声かけをしている。	今年度後期	49.0%	49.5%	1.5%	0.0%	友だちを大切にし、仲よくできる学級づくりに取り組んでいる。	今年度後期	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	今年度前期	76.8%	20.4%	2.5%	0.4%		今年度前期	56.4%	42.7%	1.0%	0.0%		今年度前期	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%
こまったくことは、せんせいやかぞくにそうだんしている。	今年度後期	39.6%	38.7%	16.5%	5.2%	我が家では、子どもが話しゃやすい雰囲気をつくるようにしている。	今年度後期	31.0%	63.7%	5.3%	0.0%	子どもたちと会話する機会を積極的に設けている。	今年度後期	33.3%	60.0%	6.7%	0.0%
	今年度前期	48.6%	35.6%	13.0%	2.8%		今年度前期	29.3%	62.5%	7.5%	0.7%		今年度前期	40.9%	50.0%	9.1%	0.0%
ちこくをしないようにとうこうしている。	今年度後期	71.2%	19.7%	6.0%	3.0%	我が家では、我が子がちこくをしないように働きかけている。	今年度後期	54.5%	42.9%	2.6%	0.0%	基本的な生活習慣が定着するように働きかけている。	今年度後期	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
	今年度前期	76.1%	14.8%	7.4%	1.8%		今年度前期	56.7%	36.7%	5.9%	0.7%		今年度前期	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%
そじじかん(15ふんかん)、じぶんからすんでそうじをしている。	今年度後期	53.2%	38.7%	6.8%	1.3%	我が家では、我が子が自分から進んでごみをひろったり、汚れているところをふいたりするように声かけをしている。	今年度後期	18.1%	55.0%	26.1%	0.8%	自分から進んでごみをひろったり、汚れているところをふいたりするように働きかけている。	今年度後期	53.3%	40.0%	6.7%	0.0%
	今年度前期	55.4%	38.9%	3.9%	1.8%		今年度前期	15.0%	59.3%	23.8%	2.0%		今年度前期	47.6%	52.4%	0.0%	0.0%
じぶんのよいところがいえる。	今年度後期	35.0%	41.5%	17.1%	6.4%	我が家では、子どものよさを認め、ほめる努力をしている。	今年度後期	31.6%	56.9%	11.5%	0.0%	子どものよさを認め、ほめている。	今年度後期	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%
	今年度前期	38.9%	37.8%	15.5%	7.8%		今年度前期	30.4%	57.5%	10.8%	1.3%		今年度前期	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%

上の表や左のグラフから、設問「我が家では、我が子が自分から進んでごみをひろったり、汚れているところをふいたりするように声かけをしている（保護者）」に対して、「よくできている」「だいたいできている」の回答が前期よりも増えていることがわかります。

また、設問「自分から進んでごみをひろったり、汚れているところをふいたりするように働きかけている（教職員）」に対して、「よくできている」の回答が前期よりも増えていることがわかります。保護者と教職員が同じおもいで子どもたちに働きかけることができていること、とてもありがとうございます。

今後は、箒をモップのように使わないことや窓を拭くときは、ぬれ雑巾で拭いた後、乾いた雑巾を使うとより美しくなることなど、掃除用具の適切な使い方も子どもたちに伝えたいと考えます。

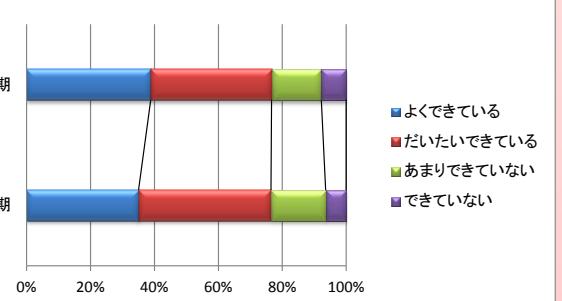
本号は、今年度後期の学校評価アンケートの結果をお知らせします。表面は、「生活面」について今年度前期と比較した「表」を載せています。

生活面の設問は全 7 項目ありますが、特に、今年度、新たに設けた「進んでそうじをすること」と、「子ども自身が自分の良さを認めること、保護者や教職員が子どもの良さをほめること」について、「グラフ」としています。

表の A は「よくできている」、B は「だいたいできている」、C は「あまりできていない」、D は「できていない」を示しています。

設問「じぶんのよいところがいえる」に対して、約 7 割 6 分の子どもが「よくできている」「だいたいできている」と回答していることがわかります。

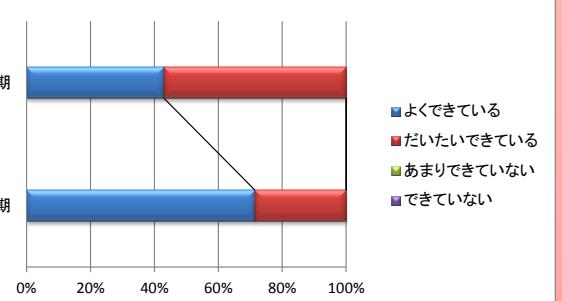
じぶんのよいところがいえる

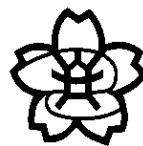


子どもたちを支える保護者・教職員は…



子どものよさを認め、ほめる努力をしている



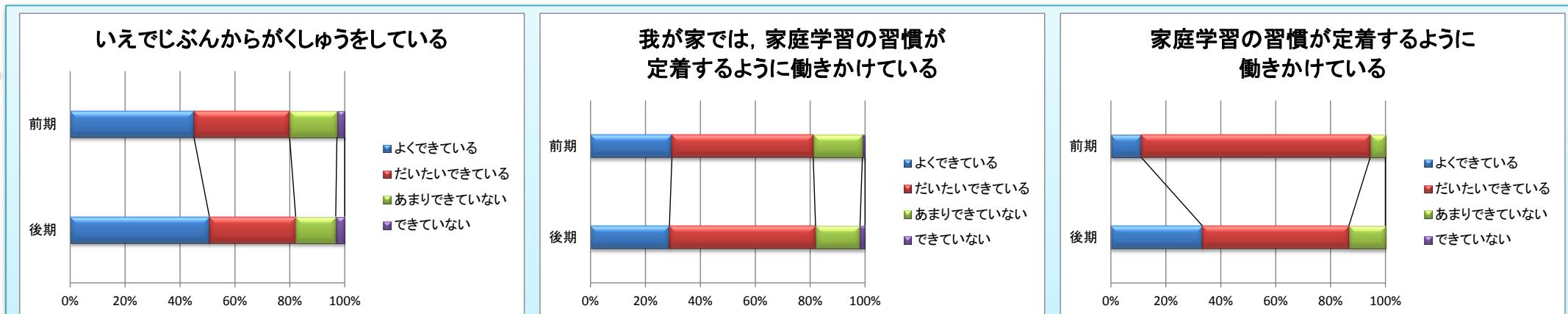


「北白川だより」 後期臨時号

平成 29 年 3 月 22 日
京都市立北白川小学校
校長 山崎 弥生

平成 28 年度 後期 学校評価アンケート <学習面> ※今年度前期との比較

子どもたち		A	B	C	D	保護者		A	B	C	D	教職員		A	B	C	D
じゅぎょうがわかりやすかったのしい。	今年度後期	54.0%	29.5%	11.0%	5.5%	我が子は、授業がわかりやすいと言っている。	今年度後期	31.0%	60.9%	7.6%	0.6%	わかりやすく楽しい授業を実践している。	今年度後期	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
	今年度前期	60.9%	27.8%	7.7%	3.5%		今年度前期	29.6%	61.6%	7.5%	1.3%		今年度前期	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%
じゅぎょうちゅう、すすんではっぴょうしている。	今年度後期	40.4%	27.7%	23.9%	8.0%	我が子は、意欲的に学習に取り組んでいる。	今年度後期	32.0%	55.1%	12.4%	0.6%	意欲的に学習に取り組むことができるよう工夫している。	今年度後期	35.7%	64.3%	0.0%	0.0%
	今年度前期	37.7%	34.5%	19.7%	8.1%		今年度前期	35.9%	51.6%	11.8%	0.7%		今年度前期	27.8%	66.7%	5.6%	0.0%
けいさんやかんじのちからがみについている。	今年度後期	44.7%	43.7%	10.2%	1.5%	我が子には、読む・書く・計算するといった基礎的・基本的な学力が身についている。	今年度後期	35.7%	52.7%	11.1%	0.6%	読む・書く・計算するといった基礎的・基本的な学力が身につくように取り組んでいる。	今年度後期	33.3%	60.0%	6.7%	0.0%
	今年度前期	51.6%	37.1%	10.2%	1.1%		今年度前期	34.5%	54.7%	9.1%	1.6%		今年度前期	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%
いえじぶんからがくしゅうをしている。	今年度後期	50.7%	31.5%	14.6%	3.3%	我が家では、家庭学習の習慣が定着するように働きかけている。	今年度後期	28.7%	53.3%	16.1%	1.9%	家庭学習の習慣が定着するように働きかけている。	今年度後期	33.3%	53.3%	13.3%	0.0%
	今年度前期	45.1%	34.9%	17.3%	2.8%		今年度前期	29.6%	51.5%	17.9%	1.0%		今年度前期	11.1%	83.3%	5.6%	0.0%
ほんをよくよんでいる。	今年度後期	57.4%	23.8%	11.9%	6.9%	我が家では、本を読むことが定着するように働きかけている。	今年度後期	28.9%	36.2%	30.6%	4.3%	読書の習慣が定着するように働きかけている。	今年度後期	21.4%	64.3%	14.3%	0.0%
	今年度前期	57.4%	27.5%	10.9%	4.2%		今年度前期	31.3%	35.2%	29.3%	4.2%		今年度前期	22.2%	61.1%	16.7%	0.0%



設問「いえじぶんからがくしゅうをしている」に対して、約 8割の子どもたちが肯定的な回答をしています。保護者の回答からも家庭学習の習慣が定着するように働きかけおられることがわかります。教職員の回答からも「あまりできていない」と振り返っている部分もありますが、家庭学習の習慣が定着するように自主勉強や読書を勧めています。

前期臨時号でも書いていたとおり、小学校 6 年間だけではなく、中学校も含めた義務教育 9 年間を見据えたとき、自主的に学習に取り組む習慣は、自己実現への大きな基盤になります。今回も、ご家庭では、どのような働きかけがされているのかを右に紹介します。

裏面は、「学習面」について今年度前期と比較した「表」を載せています。学習面の設問は全 5 項目ありますが、特に、「いえじぶんからがくしゅうをしている」について、「グラフ」についています。表の A は「よくできている」、B は「だいたいできている」、C は「あまりできていない」、D は「できていない」を示しています。また、家庭学習や家庭で心がけておられることに関する、保護者の方々に記述していただいた内容を抜粋し、紹介しています。

「記述欄から～家庭学習に関することに加えて、家庭で心がけていること～」

- 少しずつ声かけをしなくても挨拶したり、本を読んだり、家庭学習ができるようになりました。親にとっても大変なときもありますが、声かけだけではなく、親がそういう姿をみせることが大事だと思います。
- 家庭学習が習慣になるようになってきました。学年が上がってきたので、自分で決めて（量や取り組む時間）やるようにしています。しかし、少し反抗期も加わって、いつもいつも一定量がこなせる訳ではありません。“やらせる”よりも“自己の判断”的なものとやって欲しい！でも、そうするとやはり楽な方に流れていきます。“やらせる”べきなのか？親のるべき態度にも悩みます。約束した分はさせますが、その約束が自分で決めさせると甘くなります。
- 子どもの学習を親も一緒に学ぶようにしています。（同意見多数）一緒に考え、話し合うようにしています。そうすることによって、子どもが親に解説してくれたり、誤りをしてきてくれたりします。学ぶという受け身だけではなく、教えるということも大切だと感じています。
- 親として、生活面や学習面において、できる限り前向きな気持ちを大切に、日常の生活から色々な分野へつなげていける判断力を子どもに身に付け、状況の変化に対応できる人間としての強さを身に付けてください。
- 我が家では、家族でコミュニケーションをとるよう話しやすい環境をつくるようにしています。子どもにも無理にしつこく問い合わせるのではなく、自分から学校であったこと（楽しかったこと、つらかったこと）を話してくれるような雰囲気をつくるように心がけています。

「記述欄から～家庭学習が定着するように、家庭で働きかけていること～」

- 学習することが嫌いにならないように、好きな本を読んだり、その感想を家族で話したりすることで楽しく学習につながるようにしています。
- 小学生新聞の記事で読みそうな内容の記事をすすめています。（同意見有）
- リビングで宿題をさせ、ワークもリビングに置いて、やりたいときにできるようにしています。図鑑や地球儀もリビングに置いて、子どもがみたいときにみられるような環境にしています。（同意見有）
- リビングに「辞書」「事典」等を置き、疑問があればすぐに自分で調べることができます。（同意見多数）
- 図書館を定期的に利用するようにしています。（同意見多数）
- 朝、登校前に家庭学習の時間を決めて行っています。（同意見多数）
- 家に帰ったら、すぐ宿題をすることを約束しています。（同意見多数）
- 何を学習するのか、子ども自身に決めて、主体性をもたせるように心がけている。時計を近くに置いて、時間を意識して学習するようにしている。苦手分野を話し合って自覚させるようにしている。
- 持ち帰ったテストは見直し、覚え直しをさせています。次の日に授業である部分の教科書をみておくように声かけしています。

「なかなか読書週間が身に付かず、困っております。効果的な方法があれば知りたいです。」「どうしたら家庭学習が定着するのか、切実に知りたいです。」といった内容の記述もありました。

前期及び後期の「北白川だより臨時号」や「北白川だより『北白川の響育』」が、家庭学習や読書週間の定着に向けて、また、子どもたちへの関わりを考える機会になれば幸いです。

保護者の皆様からいただいた励ましのお言葉、要望などについても教職員が共通理解を図りたいと考えています。

子どもたちの成長のために、学校と保護者が連携して教育活動を進められますよう、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。次年度も、よろしくお願い申し上げます。